

VIII 日本海学

日本海学の推進

1 日本海学の概要

日本海学は、日本海とその周辺及び関連地域全体を、生命の源である海を共有する一つのまとまりとしてとらえ、海との関わりを軸にその自然・文化・歴史・経済などを総合的に研究し、新たな領域を創造するとともに、地域間の交流を促進し生命の輝きが増す未来を構想する取り組みです。

2 推進体制

日本海学を国内外に普及・推進していくため、平成15年2月10日に公益財団法人とやま国際センター（当時は財団法人とやま国際センター）内に、日本海学推進機構を設立しました。

同機構の運営委員には、秋道智彌山梨県立富士山世界遺産センター所長や武田佐知子大阪大学名誉教授など斯界の一流の研究者に就任いただき、また、専門委員には、沖大幹東京大学大学院工学系研究科教授や西村幸夫國學院大學観光まちづくり学部長・教授などに就任いただいています。

3 令和4年度事業実績

(1) 日本海学シンポジウムの開催

開催日	場 所	内 容（講師敬称略・役職は開催時）
令和5年 1月21日(土)	富山市 北日本新聞 ホール	【テーマ】 「潟と日本人ー日本海の生態史ー」 【基調講演】 「『潟』文化論ー低湿地で生かされた人びとの生活ー」 菅 豊（東京大学 東洋文化研究所教授） 【パネルディスカッション】 「潟と日本人ー日本海の生態史ー」 コーディネーター 秋道 智彌（日本海学推進機構会長） パネリスト 菅 豊（東京大学 東洋文化研究所教授） 高橋 輝男（(公財)富山市ファミリーパーク公社企画事業課主査） 中野 知幸（羽咋市教育委員会文化財課 羽咋市歴史民俗資料館 学芸員）

(2) 日本海学講座の開催

講 座 名	講 師（敬称略）	開 催 日・会 場
栽培漁業で支える 富山湾の漁業資源	富山県農林水産総合技術セン ター水産研究所 栽培・深層水課長 村木 誠一 氏	令和4年 8月13日(土) 14:00~15:30 県民会館 701号室
日本海・富山湾の 海洋ごみ問題	富山県立大学名誉教授 楠井 隆史 氏	令和4年 10月15日(土) 14:00~15:30 県民会館 611号室
北前船と富山 ー研究の歩みと町並み散策ー	富山県文化財アドバイザー 松島 吉信 氏	令和4年 11月12日(土) 14:00~15:30 県民会館 701号室
気候変動がもたらす 日本海的环境変化	国立環境研究所 主幹研究員 荒巻 能史 氏	令和4年 12月17日(土) 14:00~15:30 高岡市生涯学習センター503 研修室

(3) 富山湾の魅力体験親子教室の開催

富山湾の自然や生態系について親子で学ぶ体験教室を魚津埋没林博物館及び魚津水族館で開講しました。

- ・対象 小学生の親子
- ・日時 令和4年9月17日（土）

(4) 大学講座推進事業

日本海学の認知度を高め、より一層普及を図っていくため、県内の大学において日本海学講座を開設しました。

	大学名	科目名・テーマ	講師	開催時期
①	富山大学 (大学の正規授業)	総合科目特殊講義 「日本海学」	富山大学教員 県内研究者	後期
②	富山県立大学 (大学の正規授業)	「富山と日本海」 「環境論Ⅰ」	富山県立大学教員 県内研究者	前期
③	富山国際大学 (大学の正規授業)	「環境デザイン特別講義」	県内研究者	後期

(5) 出版物

日本海学の普及活動の一環として、平成13年から27冊の「日本海学叢書」を刊行してきました。令和4年度は、富山県立大学名誉教授、楠井隆史氏に依頼し「日本海・富山湾の海洋ごみ問題」というタイトルのもと、近年注目されている海洋ごみとプラスチック問題を題材に制作、刊行しました。

(6) 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

富山大学極東地域研究センターが行う「気候変動下における北東アジアの経済発展と環境保全」をテーマとする調査研究活動に助成し、その成果を広く県民に紹介しました。「農業における地域資源利用の可能性と課題」と題して、国内外の研究者を交えたシンポジウムを開催しました。

(7) 日本海学研究グループ支援事業

日本海学の研究・普及活動の裾野を広げるため、地域に根ざした研究を行おうとする個人・グループに対し、研究活動や論文の作成等に要する経費に対し助成しました。

4 令和5年度事業計画

(1) 日本海学シンポジウム

日本海学の中心的な事業として、日本海学に関する重要なテーマをとりあげ、シンポジウムを開催します。

テーマ 「発酵食の恵みと日本海」

開催時期及び場所 令和6年2月4日（日） 北日本新聞ホール

(2) 日本海学講座

県民が日本海及び環日本海地域に関する事象について理解を深めるための講座を日本海学推進の基礎的事業として開催します。

開催時期及び場所 8月、10月、11月、12月（12月は高岡市、他は富山市）

(3) 富山湾の魅力体験親子教室

「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した神秘の海・富山湾の魅力や不思議を親子で学習する体験教室を開催し、若い世代に富山湾の魅力を伝える教室を開催する。

開催日時：7月29日（土）

(4) 大学講座推進事業

	大学名	科目名・テーマ	講師	開催時期
①	富山大学 (大学の正規授業)	総合科目特殊講義 「日本海学」	県内研究者	後期
②	富山県立大学 (大学の正規授業)	「富山と日本海」 「環境論Ⅰ」	富山県立大学教員 県内研究者	前期
③	富山国際大学 (大学の正規授業)	「環境デザイン特別講義」	富山国際大学教員 県内研究者	後期

(5) 出版物

日本海学の研究調査活動は、大学や研究機関との連携から草の根の研究グループまで幅広い広がりを見せてきています。この中から優れた内容のものを精選して、日本海学研究叢書として出版します。

(6) 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

環日本海地域の特定テーマ（日本海学推進機構と富山大学サステナビリティ国際研究センター（旧極東地域研究センター）が協議・選定）に関する同センターの調査研究活動に助成し、その成果を日本海学を通じて広く県民に普及します。令和5年度は「気候変動下における北東アジアの経済発展と環境保全」をテーマとした研究を実施します。

(7) 日本海学研究グループ支援事業

日本海学の研究・普及活動の裾野を広げるため、地域に根ざした研究を行う個人・グループに対し、研究活動や論文の作成、講演会等に要する経費を助成します。



環日本海・東アジア諸国図(通称:「逆さ地図」)